大学「地(知)の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください(様式は自由です)。

	考の上で作成をしてください(様式は自由です)。
実習企業・機関	宮城県角田市役所
実習期間	平成 30年 8月 7日 ~ 平成 30年 8月 15日
学生氏名	八島 弘樹
実習プログラム	8月7日の初日でのプログラムは、総務課での角田市の紹介や市役所の担っている役割に
	ついて各課の説明を受けた。その後、総務課管財契約係で市の入札に関わる名簿の作成を
	行った。
	8日、商工観光課での実習が始まり課の説明や市内の観光資源について紹介していただい
	た。その後、取材対応に同行し見学を行った。市役所に戻り、スタッフとして 14 日のお
	祭りに向けて備品の準備・作成を行った。8日は、お祭りで地元の小学生の女の子達が"牟
	宇姫"に扮した衣装で使う冠の作成を行った。
	9日、台風の接近によりインターンシップ生は急遽休みとなった。
	10 日、午前中は会議室を準備し、14 日のお祭りに向けての打ち合わせに参加し、当日
	の役割を把握した。その後、備品の作成を再開した。午後からは、市内の観光スポットを ************************************
	巡り角田市について紹介していただいた。 1917 #19 の作者は気の作者が終われ、火口をなられて相様の作者が終すった。
	13日、備品の作成は冠の作成が終わり、当日飾られる提灯の作成が始まった。途中、角田本の株金日ではなるまた取り出す作業も志見せいなって行い、提供の作品作業を
	田市の特産品でもある枝豆の実を取り出す作業を市民センターで行い、提灯の作成作業を 再開した。
	14日、お祭り当日となり会場で実習を行った。鼓笛隊やまつりばやしの補助として誘導を
	14 日、お気りヨロとなり云場で美国を行うた。
	まわった。
	5 7 7 7 7 8 8 9 7 8 9 7 8 9 7 8 9 7 8 9 9 9 9
	総評をいただいた。
学び・気づき	主な活動は角田ふるさと夏祭りへのスタッフとしての参加であった。実際に活動していく
(300 字程度)	なかで、多くの職員の方々や商工会などの様々な組織とも連携しながらこのお祭りを支え
	ているのだと気づいた。その他にも実際に経験したことで想像とは違った現実を知ること
	ができた。
	活動のなかで、角田市役所の各課がどのような役割を担っているのかをお話しいただい
	た。市役所では数年単位で課を移動していくため、様々な分野に携わらなければならない。
	将来職員を目指すうえで、一つの分野だけでなく多くの分野を学び、様々な視点から物事
	を考えられるようにならなければならないと感じた。

今後に向けた 抱負

(200 字程度)

今回インターンシップに参加して特に学んだことは、現場での活動の大切さである。スタッフとしての活動や総務課での活動のなかで今まで持っていたイメージと実際は全然違うのだと気づいた。これは現場での活動があったからこそ気づき、学ぶことができた。これから実際に自分自身で活動に参加し、見て経験し感じることから学ぶことを大切にしていきたい。

インターンシップをして気づいた、実習先の魅力(300字)

今回の実習先は総務課と商工観光課のみであったが、職員の方たちから他の課の紹介も していただいてイメージをつかむことができた。それぞれの課の分野は違ってはいたがど の課でもまちづくりの重要な役割を担っており、まちづくりに貢献したいと考えている私 にとって目指すべき仕事なのではないかと感じられた。

現在開業が迫っている"道の駅"についても市役所の職員だけでなく外部の組織とも連携を図り、今まで例にないような取り組みを行っているのだと知ることができた。市役所は独立した組織というイメージを持っていたが、このような地域と連携し一緒になって地域を支えていこうとする姿勢にとても感銘を受けた。

写真 (1~3点)

